

## 高校看護 専門問題例

例 1 次の文章の(a)～(i)に、最も適切な語句を入れなさい。

- (1) バセドウ病の症状のうち、メルゼブルクの三徴候とは、(a)と(b)と甲状腺腫大のことである。
- (2) 人が直面しているストレスを処理するために行う認知的・行動的努力を(c)という。
- (3) 女性の労働者の産前産後休業の規定を定めている法律は(d)である。
- (4) 排痰体位をとり、分泌物の貯留部位である肺区域に相当する胸壁を呼気時に圧迫し、分泌物の移動を促進させる手技を(e)という。
- (5) ヒトの睡眠は(f)睡眠と(g)睡眠に分けられている。
- (6) 上り坂でのストレッチャー移送は、頭側・足側のうち(h)を進行方向に向ける。
- (7) 褥瘡発生要因のなかで看護師が独自に観察できる6項目を抽出し、点数化したものを(i)という。

(H29)

例 2 次の(1)～(5)の問いに答えなさい。

- (1) 医療事故におけるインシデントとアクシデントについて述べなさい。
- (2) 点滴静脈内注射400mlを4時間で行う。一般用輸液セットを使用した場合の1分あたりの滴下数を求めなさい。ただし、小数点以下の数値が得られた場合、小数点以下第1位を四捨五入しなさい。計算式も書きなさい。
- (3) 身長160cm、体重63kgの人のBMIを求めなさい。ただし、小数点以下の数値が得られた場合、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点第1位まで求めなさい。計算式も書きなさい。
- (4) インスリン注射のように皮下注射を繰り返し行う場合、注射部位をその都度変える理由を述べなさい。
- (5) 胃切除術後に、早期ダンピング症候群を予防する方法を述べなさい。

(H27)

例 3 次の(1)～(11)の問いに答えなさい。

- (1) 小児看護において用いられるディストラクションとは何か説明しなさい。
- (2) 在宅看護におけるレスパイトケアとは何か説明しなさい。
- (3) 細胞内液で最も多い陽イオンを答えなさい。
- (4) 細胞の自発的な死を何というか。答えなさい。
- (5) 「A注射薬」は1アンプル2mLに薬剤成分として40mgを含有している。この薬剤3アンプルを生理食塩水14mLで希釈し全量20mLにして体重20kgの患者に5 $\mu$ g/kg/分の投与速度になるようにシリンジポンプで注入することになった。時間あたりの流量を求めなさい。計算式も書きなさい。
- (6) 大地震後、避難所や自家用車の中で生活していた人に、肺塞栓症が生じたことがあったがその原因を説明しなさい。
- (7) 左右の気管支の相違を示し、誤嚥性肺炎との関連について説明しなさい。
- (8) 筋肉内注射の選択部位を2つ答えなさい。
- (9) 胃管挿入時、気管への誤挿入を防止するために、胃内への挿入確認で最も確実な方法と2番目に確実な方法を答えなさい。
- (10) 「JRC蘇生ガイドライン2010」に示された医療従事者が行う一次救命処置について、次の問いに答えなさい。
  - (a) 一次救命処置はどのようなものか、説明しなさい。
  - (b) 一次救命処置におけるCPRの項目を答えなさい。

- (11) 酸素を 3 L/分で吸入している患者を移送する。移送時に使用する 500 L 酸素ボンベ (14.7 MPa 充填) の内圧計は 5.5 MPa を示している。使用可能時間 (分) を求めなさい。ただし、小数点以下の数値が得られた場合には、小数第一位を四捨五入しなさい。

(H28)

例 4 次の (1)～(5) の問いに答えなさい。

- (1) 情報収集における質問には、オープンエンドクエスチョンとクローズドクエスチョンがある。適切な使い分け方法を説明しなさい。
- (2) 先天性心疾患であるファローの四徴症でみられる四徴を全て書きなさい。
- (3) 医療現場で、事故にいたる可能性があったが未然に防止され、患者に被害が及ばなかった事象でヒヤリハットとも呼ばれるものを何というか。
- (4) 高齢者の終末期の看護の場面などで出てくる、アドバンスディレクティブとは何か説明しなさい。
- (5) 学校保健安全法施行規則で定められた、児童生徒のインフルエンザによる出席停止期間の基準を正確に書きなさい。

(H29)

例 5 心臓の興奮とその伝播について、次の (a)～(f) に入る適切な語句を答えなさい。

心臓には、みずから周期的に興奮して収縮・拡張を繰り返す性質がある。この性質の源となっているのは、(a) とよばれる上大静脈が右心房に開口する部位に存在する一群の細胞である。(a) に発した興奮は心房全体に広がり、次にこの興奮は、(b) とよばれる特殊な心筋細胞群から (c) を通って心房から心室へと伝えられる。

(c) は結合組織を貫通して心室に入ると (d) と (e) に分かかれ、さらに (f) となって枝分かかれし、心室内腔側から心室全体に分布する。

(H28)

例 6 高等学校学習指導要領「看護」について、次の (1)～(4) の問いに答えなさい。

- (1) 「第 1 3 看護情報活用」の内容は「2 内容」に大きく 3 つ示されている。その 3 つを答えなさい。
- (2) 次の文は「第 5 成人看護」「3 内容の取扱い」の一部である。(a)～(e) にあてはまる語句を答えなさい。

(2) 内容の範囲や程度については、次の事項に配慮するものとする。

ア 内容の(1) (成人の生活・健康の特徴と看護) については、成人の成長発達に伴う(a)と精神的・社会的発達、(b)、(c)などとそれに関連する成人の看護の特徴について扱うこと。

イ 内容の(2) (機能障害と看護) については、身体の様々な機能障害とそれがもたらす日常生活の(d)と(e)にかかわる看護の知識と技術について基礎的な内容を扱うこと。

- (3) 次の文は「第 1 2 看護臨地実習」「1 目標」である。(a)～(e) にあてはまる語句を答えなさい。

看護に関する各科目において習得した知識と技術を臨床の場で活用し実践する経験を通して、(a)をはぐくみ、(b)の能力を養うとともに、(c)に携わる様々な職種の役割及び保健医療福祉との(d)・(e)について理解し、臨床看護を行うために必要な能力と態度を育てる。

- (4) 「第 1 1 看護の統合と実践」の「1 目標」を答えなさい。

(H28)

高校看護 正答例

問題番号	正 答
例 1	(a) 眼球突出
	(b) 頻脈
	(c) コーピング行動
	(d) 労働基準法
	(e) スクイーミング
	(f) レム
	(g) ノンレム
	(h) 頭側
	(i) ブレーデンスケール
例 2	(1) (正答例) インシデントは医療現場などでは事故の前段階、もしくは事故につながる可能性のあるできごと。 アクシデントは医療従事者が関与する医療行為から何らかの有害な結果が発生した事故。
	(2) 式 $400 \times 20 \div (4 \times 60) = 33.3 \dots$ 答え 33 滴/分
	(3) 式 $63 \div (1.6 \times 1.6) = 24.60 \dots$ 答え 24.6
	(4) (正答例) 同一部位に注射を続けると、脂肪組織の萎縮、硬結をきたす恐れがあるため。
	(5) (正答例) 1回の食事量を減らし、食事回数を多くし、よくかんで食べる。過度に甘いものや味の濃いものを控えるなど、食事の摂取方法に工夫する。また食後は安静にし、上体をあまり高くしないように注意する。

問題番号	正 答
例 3	(1) (正答例) 治療・処置・検査の際に、おもちゃなどの媒体や音楽、コミュニケーション、人的環境を活用して子供の意識を意図的にそらし気をまぎらわせ、生じる可能性のある苦痛を最小限にすること。
	(2) (正答例) 在宅療養者の介護者の休息のための支援のこと。介護者に過度の負担がかからないように、デイケアやショートステイなどの社会資源を上手に利用することによって、一時的に介護を代替し、休息を与える家族支援のこと。
	(3) カリウムイオン
	(4) アポトーシス
	(5) 式 薬剤成分の時間あたりの投与量は $5 \mu \text{ g/kg/分} \times 20 \text{ kg} \times 60 \text{ 分} = 6000 \mu \text{ g/時}$ $6000 \mu \text{ g/時} = 6\text{mg/時}$ $20\text{mL} \times 6/120 = 1\text{mL}$ 答え 1mL
	(6) (正答例) 震災後、トイレ確保困難のために排泄の回数を減らしたり、水分摂取を少なくしたりすることで血液が濃縮されたり、狭い避難所や自家用車の中で長時間同一姿勢を取ることで深部静脈血栓が生じやすくなる。この血栓が血流に乗って肺へ流れて肺動脈で詰まることで、肺塞栓症が引き起こされる。
	(7) (正答例) 右気管支のほうが左気管支よりも太く、短く、傾斜も急で垂直に近い。そのため気管に吸い込まれた異物は、右気管支に入ることが多く、右肺に誤嚥性肺炎を起こしやすい。
	(8) 中殿筋 三角筋
	(9) 最も確実な方法 ----- (正答例) X線撮影により胃内挿入を確認する。 ----- 2番目に確実な方法 ----- (正答例) 胃内容物や胃液の吸引により確認する。

問題番号		正 答	
例 3	(10)	(a)	(正答例) 一次救命処置 (BLS) は、呼吸と循環をサポートする一連の処置である。
		(b)	(正答例) 胸骨圧迫 人工呼吸
	(11)	式 $500\text{L} \times 5.5\text{MPa} \div 14.7\text{MPa} = 187.074\text{L}$ $187.074\text{L} \div 3 = 62.35$ 答え 62 分	
例 4	(1)	(正答例) 多くの情報を得ようとするとき、相手のことを理解したい、関係性を築いていきたいときは、オープンエンドクエスチョンを用いる。しかし、対象者が痛みや呼吸困難や緊急の場合はクローズドクエスチョンを用いることでの的確な情報収集を行うことができる。	
	(2)	肺動脈狭窄	
		心室中隔欠損	
		大動脈騎乗	
		右室肥大	
	(3)	インシデント	
(4)	(正答例) 事前指示のことで、意思決定ができなくなったときの、治療や延命医療に対する事前の意向と、自分にかわる代理人を書面で示しておくもの。		
(5)	(正答例) 発症した後 5 日経過しかつ、解熱した後 2 日経過するまで。		
例 5	(a)	洞房結節	
	(b)	房室結節	
	(c)	ヒス束	
	(d)	右脚	
	(e)	左脚	
	(f)	プルキンエ線維	

問題番号	正 答		
例 6	(1)	情報機器と情報の活用	
		情報モラルとセキュリティ	
		看護と情報機器の活用	
	(2)	(a)	身体的変化
		(b)	生活の特徴
		(c)	健康問題
		(d)	制限
		(e)	治療
	(3)	(a)	看護観
		(b)	問題解決
		(c)	チーム医療
		(d)	連携
		(e)	協働
	(4)	看護に関する各科目において習得した内容を臨 床で活用できるよう、知識と技術の統合を図る とともに、 <u>看護の専門職</u> として必要な能力と態 度を育てる。	